Press Release

報道関係各位

2026 年 4 月 16 日
株式会社 PR TIMES

岩手発「発信格差」ゼロへ。
プレスリリースエバンジェリストが地域の情報発信に挑む
産学連携「チャグチャグいわて PR プロジェクト 2026」始動

- チャグチャグ馬コの鈴の音のように、岩手から情報発信の波を起こす -



プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証プライム・名証プレミア：3922）が公認する「プレスリリースエバンジェリスト」の有志らは、「創造性とイノベーションの世界デー」である 4 月 21 日（火）、岩手県の企業や大学と連携し、県内の事業者や子どもたちの情報発信力の向上に挑む「チャグチャグいわて PR プロジェクト 2026」を発足します。

社会課題の解決や経済の活性化には、情報を発信する力が求められますが、大都市圏と比べ地方発の情報量には格差があります。そこで、ファンづくりの有力な手法にもかかわらず活用の格差が顕著な「プレスリリース」をキーワードに、スタートアップ（新興企業）向けのコンテストや、中小企業を対象にした伴走型支援を展開。さらに子ども向けのワークショップまで産学連携で一体的に繰り広げ、誰もが価値ある情報を伝えられる「PR の民主化」に挑戦します。各プログラムの参加費は無料です。

■PR TIMES 認定「プレスリリースエバンジェリスト」とは
プレスリリースへの愛と知識と経験を持ち、その活用を周りへ広める個人の方を、株式会社 PR TIMES が公認する資格者。プレスリリース未活用の方や改善の余地がある方へ、プレスリリース発信の文化を広め、情報発表によって活動を前進させられる人を増やすことが、プレスリリースエバンジェリストの主な役割。その存在と活動を通じて、地域や経験の有無を超えて、誰もが価値ある行動を伝えられる「PR の民主化」を実現することを目指す。
https://prtimes.jp/pressrelease-evangelist/

※本プレスリリースは、プロジェクトを推進するプレスリリースエバンジェリストと共同で執筆しています

プロジェクト立ち上げの目的と背景

「PR TIMES」ご利用企業の約 6 割が東京都に集中している事実にも表れているように、地方企業の情報発信量との間には明確な「発信格差」が存在しています。この格差を解消できれば、地方の優れた技術・産品・人材が広く世の中に知られ、地域経済の活性化につなげることができます。 地方の中でも岩手県は、プレスリリース認知度の都道府県別調査(*1)において全国最下位(47 位)、53.8%の人がプレスリリースとは何かを「知らない」(東京は 14.7%)という現状にあります。しかし裏を返せば、伸びしろが最大の地域でもあります。また岩手県では地域経済の発展に向けてスタートアップ育成の機運が高まり、2026 年秋には国際会議の開催も計画され、今こそ発信力を強化すべきだと捉えました。

本プロジェクトは、プレスリリースエバンジェリストと PR TIMES が共創する初の自治体連携モデルとして岩手に根ざし、「発信格差ゼロ」を目指す実証プロジェクトです。ここで得た知見を全国の地方都市へ展開できるモデルケースとなることを目指します。

(*1)PR TIMES が日本全国のビジネスパーソン 4839 名を対象に実施（2025 年 9 月 29 日～2025 年 10 月 8 日集計）。「プレスリリース」を「具体的に知っている」と回答した上位 5 都市は東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県と都市部に集中。「知らない」と回答した上位 5 都市は岩手県、宮崎県、和歌山県、沖縄県、香川県という結果となり、プレスリリースの認知度に地域差があることがわかった。
参考：https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001587.000000112.html

プロジェクト概要

プロジェクトのコンテンツは、PR TIMES が公認する広報 PR の専門家「プレスリリースエバンジェリスト」が企画。主要な中核プログラムは 3 つです。5 月 31 日(日)には、集大成となるメインイベントを岩手県盛岡市のキオクシア アイーナで開催します。全て参加費無料です。

プロジェクト名	チャグチャグいわて PR プロジェクト 2026
主催	PR TIMES プレスリリースエバンジェリスト
協力	株式会社 PR TIMES
対象地域	岩手県（盛岡市を中心に県内全域）
期間	2026 年 4 月～5 月（メインイベント：5 月 31 日）
主な支援内容	スタートアップ支援 ／ 事業承継者支援 ／ 子ども・若者向けプログラム
特設サイト	（近日公開予定）

「チャグチャグ」とは ―― 岩手が世界に誇る伝統行事の音

「チャグチャグ」の名は、毎年 6 月に岩手県滝沢市・盛岡市で開催される伝統行事「チャグチャグ馬コ」に由来します。約 60 頭の馬が滝沢市の鬼越蒼前神社から盛岡市の八幡宮まで 14 キロを行進するこのお祭りは、馬の装束に付けられた無数の鈴が歩くたびに「チャグチャグ」と鳴り響くことがその名の由来です。

江戸時代の大名行列「小荷駄装束」を原型とする色とりどりの装束をまとった馬の行進は圧巻で、その鈴の音は環境省「残したい日本の音風景 100 選」にも選定されています。また、文化庁から「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」にも選択されており、岩手が全国・世界に誇る文化遺産です。

本プロジェクトは、この「チャグチャグ」の音のように、岩手発の情報発信がリズムよく・力強く・全国へ響き渡ることへの願いを込めて命名しました。鈴が鳴り響くように、岩手の魅力と産業の声を全国へ発信し続けます。

3 名のプロジェクトリーダーと、3 つの支援プログラム

本プロジェクトでは 3 名のプレスリリースエバンジェリストが各部門のリーダーを務め、チームメンバーと共に 2026 年 5 月 31 日のメインイベントに向けて岩手の情報発信を牽引します。

【スタートアップ支援 部門リーダー】
袈裟丸 梨里子｜プレスリリースエバンジェリスト
先端技術(IT・ディープテック)広報専門家／事業設計工学修士／東京都立産業技術大学院大学 戦略的機能イノベーション研究所 研究員／AERAwoman スペシャルサポーター
【代表コメント】
プレスリリース認知度は 47 位でも、実は全国でもっとも「経済的に豊かな自治体」なのが岩手県です(東京都は 34 位)(*2)。そんなギャップも魅力の岩手県、チャグチャグ馬コの鈴が鳴り響くように、今こそ岩手の声を全国へお届けします。
(*2)出典：国土交通省 都道府県別の経済的豊かさ（可処分所得と基礎支出）（2024）
「可処分所得ー基礎支出ー通勤の機会費用」で岩手県が 1 位。



【事業承継支援 部門リーダー】
戸口 木綿子｜プレスリリースエバンジェリスト
宮城県出身。スタートアップから中小企業での不動産・教育・出版・人材・SaaS 業界での広報支援実績をもつ。
PRSJ 公認 PR プランナー／WACA 認定上級 SNS マネージャー／WACA 認定 Web 解析士／日経ウーマンアンバサダー



【子ども・若者向けプログラム 部門リーダー】
加星 宙麿｜プレスリリースエバンジェリスト
元地方紙デスク。新聞形式プレスリリース「新プレ」を考案し、普及に向け起業。年間最大約 110 本のリリースを制作。さらに子どもの編集力・発信力育成に向け、小学校教諭と新聞形式プリント「新プリ」を開発。大阪・関西万博で展示・発表。





岩手県盛岡市内にて

プロジェクト支援メンバー

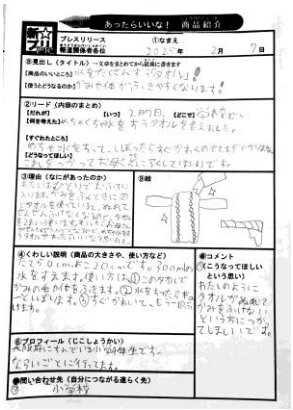
佐藤 知世 ｜プレスリリースエバンジェリスト
中島 健太郎｜プレスリリースエバンジェリスト

支援プログラム内容

◆Future Pressrelease 5（フューチャー・プレスリリース・ファイブ）
スタートアップ支援 ｜ 初開催企画「10 年後のプレスリリース」コンテスト
全国のスタートアップが「2036 年の自社の姿」を描いたプレスリリースを作成・発表。社会インパクト・実現可能性・PR 訴求力の 3 軸で審査し、ファイナリスト 10 社がメインイベント当日に発表、審査員・企業・投資家・支援機関などの各賞が優秀企業へ贈呈されます。エントリー各社のプレスリリースはタイムカプセルとして 2036 年に開封予定。メディアへの掲載・投資家との接点創出も支援します。

◆事業承継支援プログラム
限定 5 社 ｜ 岩手県内事業承継予定企業へのフルパッケージ支援
2026～2027 年に事業承継を予定または承継先をお探しの岩手県内事業者・限定 5 社を対象に、①社内情報発掘・勉強会 → ②プレスリリース作成支援・PR TIMES 配信→ ③記者クラブ・メディアアプローチ → ④都内アンテナショップ等でのポップアップ（予定） → ⑤プレスリリースアワード応募支援まで伴走します。また、ニーズに応じた支援を検討します。

◆ 子ども・若者向けプログラム
将来必要となる編集力や発信力をワークシートで育成し、起業家精神を養います
子ども向けには、「あったらいいな」と考える商品をプレスリリース形式のワークシートで表現するワークショップを行います。将来必要になる編集力や発信力を育成し、起業家精神を養うのが目的です。優れた作品の顕彰やイベント会場での掲示を予定しています。また、学生向けには、事業者向けと同等のプレスリリース作成講座を実施します。優れた内容は、事業者向けと同様に伴走型支援を展開し、顕彰や展示の機会も設けます。



メインイベント概要

名　　称	チャグチャグいわて PR プロジェクト 2026 共通イベント
日　　時	2026 年 5 月 31 日（日）
会　　場	キオクシア アイーナ（いわて県民情報交流センター、岩手県盛岡市盛岡駅西通 1-7-11）
動員目標	200 名以上
内　　容	スタートアップピッチ（Future Press Release 5 最終審査・表彰）／ 各種トークセッション ／ プレスリリースの展示・発表 ／ 子ども向けイベント ／ブース出展　などを予定
登壇予定	・株式会社スタートアップクラス 代表取締役社長　藤岡清高 氏 ・メディア関係者複数名（近日発表）

参考情報

◆プレスリリースとは

プレスリリースは、企業や団体がメディア向けに新情報を発表する公式資料です。記者が情報収集のために活用し、取材につながったりニュースとして掲載されることで、発表した情報が世の中に広がりやすくなります。また近年では、正確な最新情報がいち早く分かることから、プレスリリースそのものが一般生活者や顧客、取引先などあらゆるステークホルダー(利害関係者)にも見られるようになり、コミュニケーションツールとして発展してきました。学生が就職活動の一環で閲覧するケースも見られます。 プレスリリースの特徴は、企業・団体自らが発表する公式文書であるという点です。そのため、事業者が発信する SNS やチラシ等と比べて公共性が高く、信頼感を持って受け止められる特性があります。また、インターネットでの検索対策として重視される場合もあり、AI が最も信用し引用するサイトを分析した調査(*3)では、8 業界のうち「旅行・店舗・グルメ」など 3 業界で「PR TIMES」が 1 位というデータもあります。

(*3)出典：LLMO ツール「Brand UP」を提供する株式会社 Wanokuni AI 検索引用ランキング「AI Search Cited Award 2026 上期」の発表、https://www.brand-up.net/awards/ai-search-cited-award

◆創造性とイノベーションの世界デー

2017 年 4 月に国連総会で制定された国際デー。持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け、創造性とイノベーションの重要性について意識を高めるための日。情報発信における創造性の発揮を促進し、スタートアップや地元企業の発展、次世代の育成につなげるという想いを込め、この日にプロジェクトを発足します。

国連の総会資料：https://www.unic.or.jp/files/a_res_71_284.pdf

■ 本件に関するお問い合わせ
チャグチャグいわて PR プロジェクト 2026 事務局
メールアドレス：chaguchagu-iwatepr@prtimes.co.jp
電話番号：03-6625-4887（株式会社 PR TIMES　担当：今井、杉本）

株式会社 PR TIMES について

【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション：行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ
会社名　　：株式会社 PR TIMES　（東証プライム、名証プレミア　証券コード：3922）
所在地　　：東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 8F
設立　　：2005 年 12 月
代表取締役：山口 拓己
事業内容　：- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」（https://prtimes.jp/）の運営
- ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」（https://prtimes.jp/story/）の運営
- クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR 支援の実施
- 動画 PR サービス「PR TIMES TV」（https://prtimes.jp/tv）の運営
- アート特化型オンライン PR プラットフォーム「MARPH」（https://marph.com/）の運営
- カスタマーサポートツール「Tayori」（https://tayori.com/）の運営
- タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」（https://www.jooto.com/）の運営
- 広報 PR のナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」（https://prtimes.jp/magazine/）の運営
- プレスリリース専用エディター「PR Editor」（https://preditor.prtimes.com/app/）の運営
- Web ニュースメディア運営、等

URL　　：https://prtimes.co.jp/